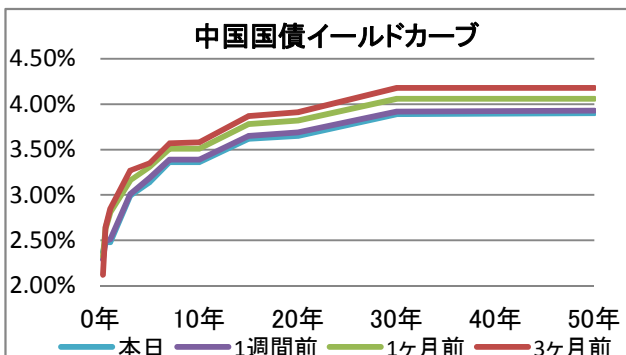
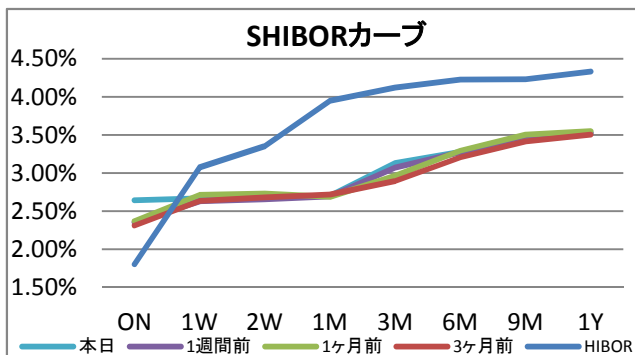


①市場概況

基準レート		2018/11/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9357	0.0051
	JPY/CNY	6.1153	-0.0194
SHIBOR	3M	3.1130%	+0.0400%
国債利回り	10年	3.36%	-0.03%
上海総合指数		2,588.19	8.71



(1) 概況

週末のG20と米中首脳会談を控え、米中貿易摩擦の行方や中東における地政学的リスクと原油安等、世界秩序の揺らぎに起因する問題と各国の金融政策に対する思惑が交錯する状況が続いており、金融市場は不安化している。中国金融市場でも、米中貿易摩擦の行方に対する不透明感の高まりや景気悪化懸念と当局による景気刺激策への期待が相半ばし、様子見姿勢が強まっており、株式、債券ともに値動きは限定的。

(2) 金融調節

先週はオペ期日も、新規のオペ実行もなく、11月はリバースオペによる資金供給が実施されなかった月となった。

(3) 主な経済指標

国家統計局が発表した製造業PMIは50.0、非製造業PMIは53.4と、いずれも前月比低下しており、直近1年でも最低となった。特に製造業PMIは、生産、新規受注ともに前月比低下しており、米中貿易摩擦による企業活動への影響が一段と厳しさを増している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.6420%	2.7200%	2.6300%	
1W	2.6690%	2.8000%	2.6700%	2.5500%
2W	2.6730%	2.6730%	2.6500%	2.6000%
1M	2.7000%	2.7000%		2.5000%
3M	3.1300%	3.5300%	3.1000%	3.1500%
6M	3.2790%	3.2800%		3.3600%
9M	3.4830%		3.6000%	3.4700%
12M	3.5270%			3.6000%

中国人民銀行の資金供給見送りが続いているものの、市場内では追加の金融緩和に対する期待が強く資金を取り急ぐ向きが少ないことから、金利水準は上がり難い状況が続いている。NCD市場においても、優良銘柄で3.5%を越える水準となっている9ヶ月以上の期間の取引が依然として活発。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	SHIBOR	無担保資金
ON	2.20%	2.25%
1W	2.35%	2.40%
1M	2.95%	3.00%
3M	3.20%	3.30%
6M	3.45%	3.50%
12M	3.75%	3.85%

週前半は安定していたものの、週末近くになると月末越え資金の不足感に加え、年末資金調達ニーズの高まりが意識され、金利水準はじりじりと上昇した。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.37%	2.73%	3.15%	3.22%	3.67%
6M	2.48%	2.84%	3.27%	3.36%	3.81%
1Y	2.48%	2.84%	3.45%	3.64%	4.07%
3Y	2.99%	3.38%	3.80%	3.91%	4.55%
5Y	3.14%	3.50%	4.02%	4.09%	5.09%
10Y	3.36%	3.73%	4.33%	4.44%	5.53%

債券利回りは、中国の景況感悪化やパウエルFRB議長のハト派的発言から低下傾向が続いているものの、12月以降の債券発行増加懸念（2008年の金融危機以降最大規模の可能性）や週末のイベントを控えて、値動きは限定的となった。この結果、イールドスプレッドは総じてフラットニングにより縮小する一方、リスク回避的に優良銘柄が選好されたことから信用スプレッドは拡大している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	0.1 / 0.2
1M	0.4 / 0.6
3M	-15.5 / -14.0
6M	-75.0 / -67.0
9M	-151.0 / -137.0
12M	-235.0 / -225.0

対ドル基準値は6.9357と前週末比+51pipsのドル高元安、対円基準値は6.1153と同△194pipsの円安元高と、週末にかけて米長期金利低下からドル安に転じたものの元安傾向の強さを映じた設定が続いた。スワップ幅は年末や春節が意識され始めてSHIBORが下がりにくい状況が続いたことからビッドが強く、ディスカウント幅が縮小する展開となった。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.71%		2.39%
6M	2.72%	3.20%	3.50%
9M	2.75%	3.25%	2.51%
1Y	2.77%	3.30%	2.58%
3Y	2.93%	3.50%	2.75%
5Y	3.13%	3.66%	
7Y	3.27%	3.78%	
10Y	3.38%	3.88%	

短期の基準金利が月末を控えて下がりにくい状況が続き、債券利回りがフラットニングしたことを映じて、金利スワップの水準は、短期が上昇する一方、長期は概ね前週末水準のままとなった。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。